

# あがつま



年間聖句

『兄弟たち。あなたがたは、自由を与えられるために召されたのです。ただ、その自由を肉の働く機会としないで、愛をもって互いに仕えなさい。』

(ガラテヤの信徒への手紙 5章 13節)

♪ 賛美歌を歌おう ⑭  
『地よ、声たかく』

（讚美歌第154番）

東方教会のイースターの賛美歌で、最高のギリシャ語賛美歌と評されています。

原作者のダマスコの聖ヨハネ (675?-749?) は、ダマスコ

(シリア) のアラブ人キリスト教徒の家庭に生まれ、父子二代にわたり、キリスト教徒の代表者としてイスラム政府の高官の地位に就いていました。当時の東ローマ帝国で行なわれた聖像破壊運動に反対し、皇帝レオン三世と対立。皇帝の策謀によって職を奪われます。その後、彼は財産を処分して貧しい人々に分け与え、修道院に入り、後にエルサレムの司祭となり、百歳近い高齢をもってこの世を去ったと伝えられています。

彼は多くの神学的著作を残し、カノン（正教会の教会音楽で用いられる八種の音階）と呼ばれる聖歌の編纂・作曲を行いました。

この賛美歌をプロテスタント教会に紹介したジョン・メーソン・ニール

(1818-66) によると、復活

日前夜からの夜を徹しての礼拝において、ロウソクを灯した会衆が「キリストは復活した」と口々に叫びつつ抱き合い、その喜びの中で最初に歌われたのが、この『地よ声高く』であったそうです。

この賛美歌はキリストの復活が、人間だけの喜びではなく、全被造物の喜びであることを歌っています。全ての被造物と共に、主の復活を喜び祝いましょう。  
(稲垣真実)